神待ちJK拾ったら
居座られた

ほら～
思う存分
召し上がれ♡
私もっともっとバカになっちゃいそう！♡
おいおい～
せーえきでお腹いっぱいだよぉ…♡

今日も残業の
無味乾燥な
サラリーマン生活
これと言って趣味もないし
何のために生きているのかも
分からなくなる日々
あぁ…
何か面白い事
ねえかなぁ…
GAME
ゲーセンか…
昔はよく行ったな
たまには入ってみるか
こんな時間まで
学生が遊んで
いやがって
ロクな大人に
ならねえぞ
昔取ったきねづかだ
やってみるか
ヴィーンッ
あっ
よしっ
わしっ

ごとっ
おお～っ
ぐっ
フンッ
パチパチ
やる
えっ いいの？
いいよ別に欲しかったわけじゃないしな
ズンッ
マジで!? ありがと～♡ お兄さんいい人だ～♡
じゃあついでにご飯おごって♡ 私お金ないの♡
はっ？

ハンバーグおいし～♡
パクパク♡

はあ…それで約束してた相手にドタキャンされた腹いせにクレーンゲームに全部つぎ込んで文無しになったってわけか…
モグモグ
うん♡
バカだな

あーバカって言ったほうがバカなんだよーっ
はいはいじゃあ電車賃ぐらいやるから早く家に帰れ

またバカって言ったぁっ！
あっ

…今家出中だから帰れない…
家出ぇ？バカな事言ってないで帰れ帰れ

そうだお兄さん今日泊めて♡
何勝手な事言ってるんだ！
停めてくれなきゃおまわりさんにチカンされたって言っちゃうよ
アホかっ!!

入っていいぞ
ガチャ
わーい やっぱり
お兄さん
いいひとだ～♡
ダーッ
脅しといて
何言ってるんだ…
一人暮らしの割には
結構片付いてるね
あんまり
じろじろ見るなよ
じゃあちょっと
シャワー借りるね
あぁ…
シャアアア…

ガラッ
あー
さっぱりした～♡
よいしょっと♡
あ あんまり
近寄るな…
さささ…
スッ
いいんだよ
触って
お 大人を
からかうなっ
泊めてもらうんだから
私だってお礼の仕方は
わかってるよ
ぐぐっ

正直こういう事を期待していなかったわけじゃない
でもいざ現実となると緊張するな!!
そーっ
こんな年下に手を出したことなかったし
ビクッ
あっ…♡
さわっ…
あっ…
はぁっ…
んんっ♡
ブルルッ
もみゅ
もみゅっ
ふにゅ
ふにゅっ
お兄さん…
くるっ…
はーっ
はーっ
はーっ
んっ…
ぢゅるっ…
はふっ…
ちゅる
ちゅるっ
うん♡
にゅる
にゅるっ…
くちくちっ

邪魔だから脱いじゃうね
サッ
もう…恥ずかしいからじろじろ見ないで♡
するっ…
すすっ…
ごくっ…
ムクムクッ

ふふっ お兄さんったらもうこんなカチカチにしちゃって～♡
くいっ
かぷっ
これだけビンビンだと咥え甲斐があるな～♡
くぽっくぽっ
はふっ
ふりふり
うぷっ
うん…
くぷっ…
ちゅぷちゅぷ
ちゅぷ
こいつ…
かなり手馴れているな…
ごくっ
あ～あお小遣い貰わずにエッチな事するの超久しぶりだ～
レロロ～ッ
はあ…

小遣いはやってないけど
ぬいぐるみ取ってやって
飯もおごってやっただろう
あっ そうだった
ああ やっぱりそういう事
しょっちゅうしてる
奴だったのか バカガキが!!
私の事バカな子って
思ってるでしょ?
ペロンッ
えっ?
いいよ
実際バカだし
それは…
しゅこ
しゅこ
私だってこんな事してるの
バカだと思うけど
私勉強できないし
特に趣味も無ければ
特技も無くてさ~
何のために生きているのか
わからなくなる時があるの
こいつは!!
でもエッチしてるときは
男の人は私の事
褒めてくれるし
お小遣いもくれるの
それに気持ちいいしね
だからエッチしてるときは
嫌な事も忘れられるの
ホントバカだよね

えへっ
何で私こんな事
話してるんだろ
お兄さんが
いい人だからかな～
お前…
わっ!?
ぎゅっ
いや何言っていいのか
わかんねえけど…
いいんだ…
生きてりゃ誰だって
色々あるからな…
お兄さん？
…うん…

ありがとう…
なんか気が楽になったよ
うんっ♡
ちゅっ♡
お兄さん
来て…
くいっ
おおうっ
ふあぁぁぁ…
お兄さんのおちんちんが
入ってくるぅ…♡
ビクッ
ビクンッ
ずぶぶぶぶ
ずぼおっ
くぅぅんっ!!♡
ほら
はやくぅ♡
きゃっ♡
おいおいっ

あっ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
やっ♡
あはぁっ
すごぉいっ!!♡
プルン
ビクッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ずっちゃ
ずっちゃ
ずっちゃ
お兄さんとっても
激しいっ♡
プルン
ビクン
ぎゅっ
ちゅっ♡
くそぅっ
お前のおまんこが
スゲエしまって
気持ちいいからだよっ!!
ギシギシ
グチュ
グチュ
ガクガクッ
はふぅ…
褒められちゃったぁ
嬉しい…♡
はふぅ…♡
ギシッ

ひゃんっ!?
ぐっ
ぐいっ
はぁ…
ギュッとされると
安心するよぉ…♡
ぐっ
ぐっ
ぢゅうっ
はふぁっ！♡
ビクッ
ちゅうううっ
あはぁっ…
おまんこ突かれながら
おっぱい吸われるの
いいっ‼♡
がくっ
ズンッ
ぢゅるるっ
がくがくっ
ズンッ
お兄さんの
おちんちんが
私の一番奥まで
当たってるぅ…
ギッ
もっと…
もっとぉ…っ‼
私の奥深くまで
来てえっ‼♡
ギッ
ズプッ
ぐいいっ
ズプッ
ギッ

あっ♡
ギシギシ
ズプズプッ
ふにゅふにゅ
いいっ♡
もみゅもみゅ
ズプッ
ギシッ
私だってお兄さんを
気持ちよくして
あげるんだからぁ…♡
パンパンパン
わしっ
ぬちゅぬちゅ
くっ…
もう出そうだ…
パチュパチュパチュ
いいよぉ
中出ししてっ!!♡
お兄さんのせーえき
全部私が受け止めて
あげるっ
ぐぐっ
ぢゅるっ
ぐぽぐぽぐぽっ

ビクッ
ビクンッ
イっちゃうっ!!♡
ブシャアアッ
どくどくっ

朝起きると彼女はいなくなっていた

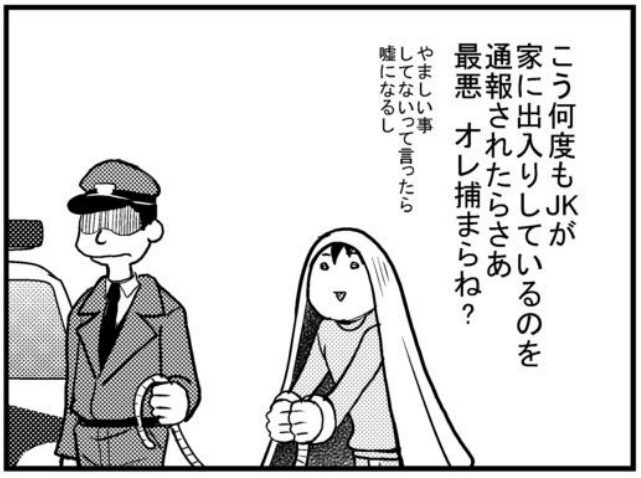
帰ったのかアイツ…
そういや名前も聞いてなかったな
まあいいかもう会う事もなさそうだし

ていうかぬいぐるみ忘れてってるし…
あっ やっと帰ってきた
お お前っ!?
うん？
家に帰ったんじゃなかったのか…
うん 帰ってたよ 荷物を取りにしばらくお世話になるからね～
じゃあよろしくね
こ こら 勝手に決めるなっ！
しばらくって何勝手な事…
だってお兄さんいいひとだし～♡
あ そういえばまだお兄さんの名前を聞いてなかったし私の名前も言ってなかったね
私の名前は…

ガチャ
ただいま～
あ～ 今日も疲れた～
って
今日はいるんだ
あ ああ
今日は定時で
上がれたからな
じゃあ
お買い物は
してきたから
早速晩御飯作るね
トントン
トントン
確かに
合鍵は渡したが…
そ～っ

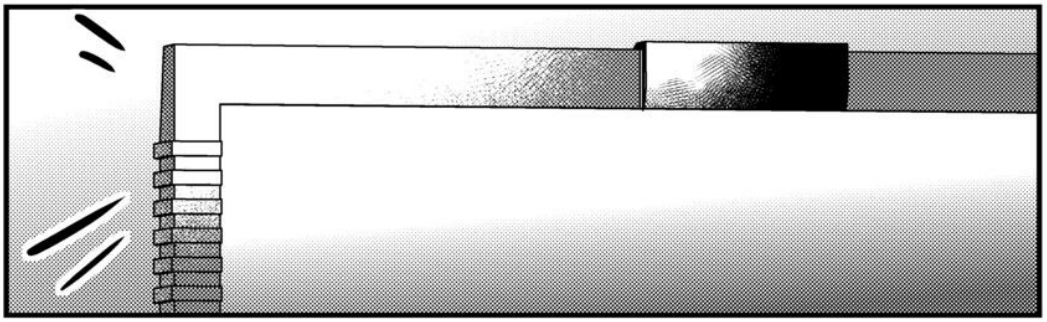
なぜ
当たり前のように
入り浸っている⁉

いや
晩御飯作ってくれるのは
ありがたいけどさあ


こう何度もJKが
家に出入りしているのを
通報されたらさあ
最悪 オレ捕まらね？
やましい事
してないって言ったら
嘘になるし

いただきま～す
いただきます…

ごちそうさま～
あっ 今日は泊っていくからね
えっ？



ダメ？
いやそうじゃないけど…
鬱陶しい？

あの…なんでわざわざオレの膝の上に？

そんな事はねぇ…
嬉しい！♡
ぎゅっ♡

あ～
さっぱりした～♡
ほか♡
ほか♡

…早速ベッドを
占拠してるな
仕方ない
今日は布団を
しいて寝るか…

え～
一緒に寝ようよ～
いや だって明日も
会社あるしあんまり
体力を消耗するわけには
お前も学校あるだろ？

あれあれ～？
私は一緒に寝るって
いっただけなのに～
そんなに疲れる事
するつもりだった
なんてお兄さんのエッチ♡
てめえ…

私はいつでも
お兄さんとエッチ
したいと思ってるよ
初めてお兄さんと
ゲームセンターであった時は
ただこの人チョロそうだから
利用してやろうなんて思ってたし
エッチしたのも
宿泊費代わりの
お礼のつもりだったけど
今はそんな風に
思っていたこと後悔してる
今はそんな風に
思っていたこと後悔してる
理屈は
よくわからないけど
私 お兄さんとずっと
一緒にいたいと思ってるよ

だから ほら～
JKの湯上りたまご肌
思う存分
召し上がれ♡
もうちょっと
言い方あるだろ
せっかくいい
雰囲気だったのに…
ま まあ
それじゃあ…
いらっしゃいませ～♡
えへへ♡
スイ…

うんっ♡
ちゅ♡
あっ♡
はあ…
ちゅぽちゅぽ
んんっ!!…
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ちゅぽっ
いいっ
しゅこ
しゅこ
しゅこ
いいよお…♡♡

ハー♡
ちゅる
ハー♡
ちゅる
ハー♡
ハー♡
はふぅ・・
んんっ
あはぁ♡
ザワ
ザワ
しゅこ
しゅこ
しゅこ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ヌプ
ヌプ
ザワ
ザワ
すりゅ
すりゅ
すりゅ
すりゅ
あぶっ・・
ぢゅるる
んふぅ♡・・
ぐっ
ぐっ
ぐぽっ
ビクン
プシャアアッ
はうんっ!!

あはっ
軽くイっちゃった♡
今日はなんだか
とっても感じやすいみたい
そんな事あるのか？
くたっ…
だから～
今度は私が
目いっぱい
ご奉仕する番～♡
きゅっ♡
ふわっ…っ
あーんっ♡
ふりふりっ
はむっ♡
はふっ…
はぁ…
くぽっ
くぽっ
うん…♡
ぐちゃ
ぐち

うん まだイっちゃダメ外に出すのは勿体ないもんね
私もそろそろこれが欲しいんだ♡
ぺろ
きゅむっ
ちゅぷんっ・・
うふっ♡
はふっ・
じゅぽじゅぽ
ちゅぷぢゅぷ
うふっ・♡
ちょ まっ…出ちゃう…っ！
ぺろぺろ
あはっ♡
しゅこしゅこ
ろ～ぉっ♡

挿れるぞ
ほわっ
うん…♡
どきどき♡
ぴとっ♡
あっ…
ずっ
ずぶぶぶ…
ぞ
ぞくっ
あぁ♡
ブルルッ
ビクンッ
ズ
くぅんっ!!♡

ギシッ
くんっ♡
ギシッ
ぎゅっ
ぬちゃ
ぬちゃ
ギシッ
あっ
はっ
ズズッ
いいよぉ
お兄さん
ズンッ
もっと
もっとぉ
ズンッ
ハッ
お前のナカすげえ締まってチンコに吸い付いてくるっ……！
腰が止まんねえっ！
パコッ
パコッ
パコッ
パコッ
くうっ
ふあぁっ！
ズチュ
ブチュズチュ

お兄さん 名前を呼んで…
もっと恋人同士みたいに
ラブい感じでヤろ…♡
ぐっ
ぐっ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
杏樹…
うん…
ちゅっ♡
ぐっ
ぐっ
杏樹っ！
ぐちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅ
ぐちゅっ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
まぁあぁんっ！！♡

手 握って…
お おぅ…
ぐっぽ
ぐっぽ
ぐっぽ
うん… やっぱり こういうのがいいな お兄さんの手 温かくて大きくて安心する…
それに お兄さんとたくさん 繋がってる感じがする…♡
ぶるっ
ぷるっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんぱんっ
ぱんぱんっ
ぎゅっ♡
はっ♡
あっ♡
は 恥ずかしい事言うなよっ
ぷるん
ぷるっ

なんで？
私は正直に気持ちを
言っているだけだよ♡
もっと…
もっといっぱい繋がろっ…♡
ゴッ
ゴッ
ぞわっ・・
ぐいっ
ぐいっ
ぐいっ
プルン
プルンッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

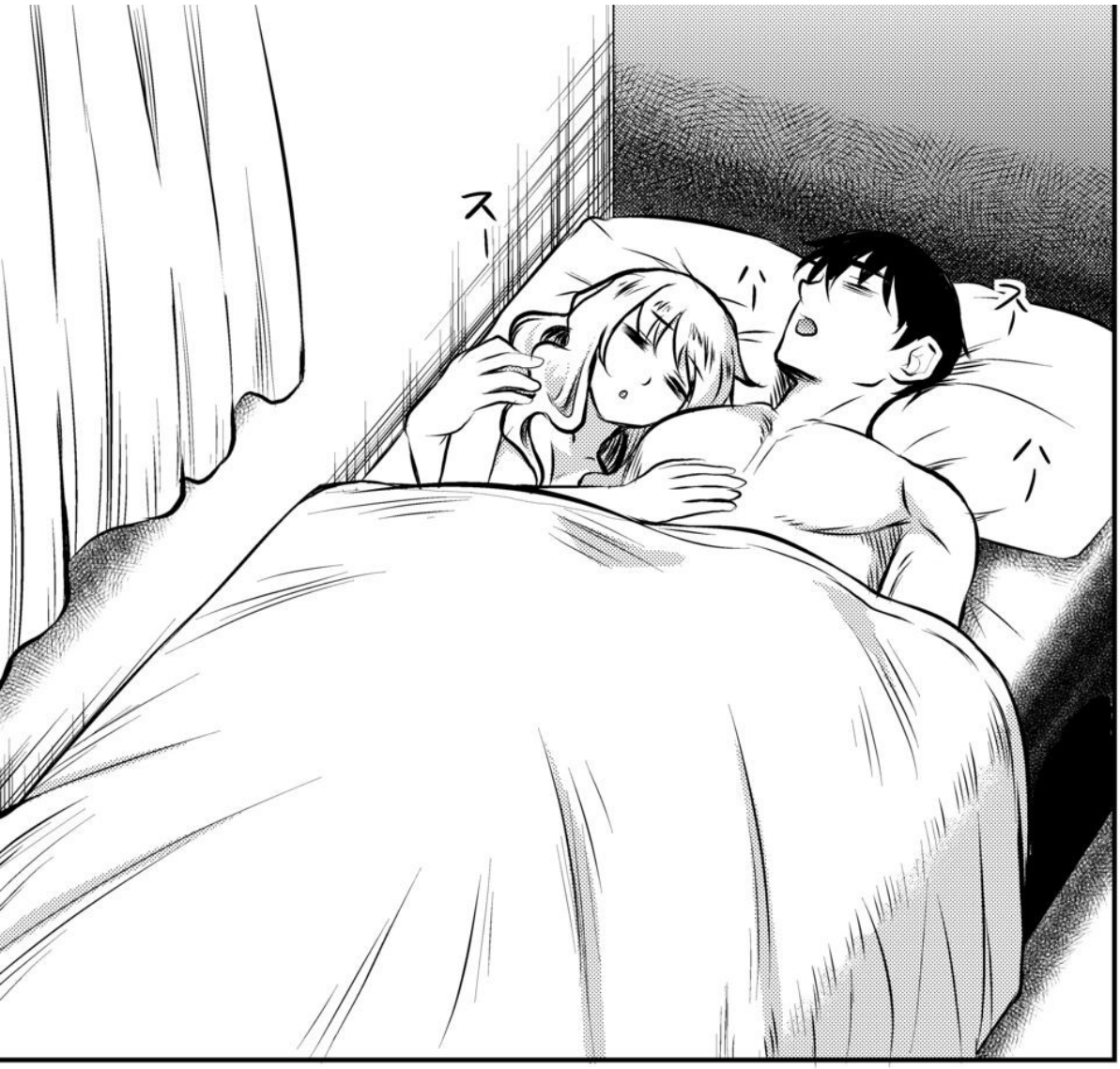
杏樹っ！
あっ お兄さん はげしいっ！
いいっ♡!!
ぐぃっ
ぐぃっ
ぐぃっ
ズン
ズブ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ

ばちゅ
ばちゅ
ばちゅ
くっ もう出そっ…
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ハー♡
ハー♡
ハー♡
うんっ 出して…
私のナカにいっぱい…っ！
どくっ
どくっ
どくっ
ぐいぐいっ
ビュルル～
ビュルッ

その後も俺たちは何度も何度も交わり続けた
ぶるるっ
ぶー♡
ぶー♡
ずくっ…
ずぶっ
もみゅっ
もみゅっ
ぢゅるるるっ
のしっ
あはっ♡
はふぅ…
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
せーえきでお腹いっぱいだよぉ…♡
それはただ貪欲に快楽を求める互いの体を貪りあい続け互いの境界線が曖昧になるような深く激しいセックスだった
ところっ…

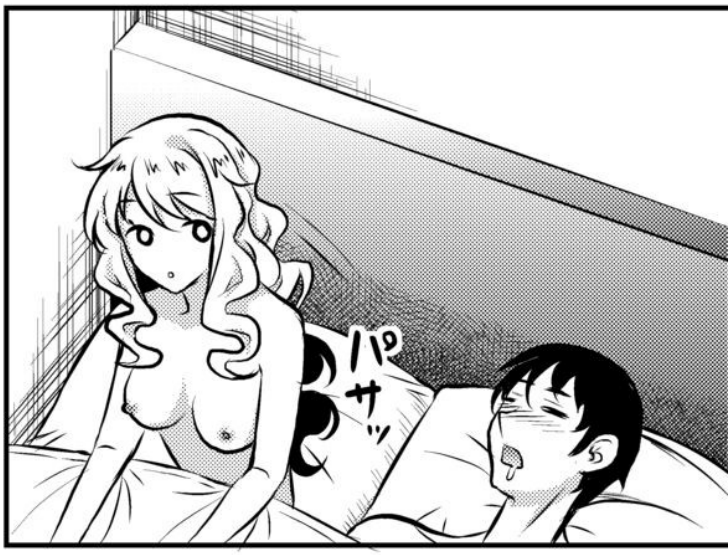
も～
一体何回出すのよ～
体中がお兄さんのせーえきで
ベタベタだよぉ
はーい♡
べたぁ
はーい♡
でもこういうの
悪くないかも♡
はーい♡
とろっ…
そんなに私のおまんこが
気持ち良かったかな？
ちょ♡
お兄さんの
エッチ♡

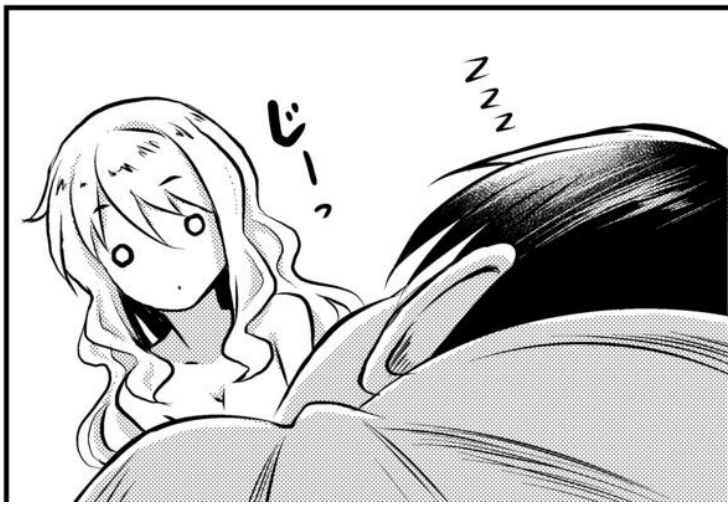
はむはむっ
あ～きもひ
よかっはっ～
おそうひ
おそうひ♡
チンコを咥え
ながら喋るなよ…
パタパタ
プリっプリ♡
ひょんな
ひょまかいこ…
あっ
ぎゃっ!!
だから言っただろ！
ご ごめ～んっ
ほら
痛いの痛いの
とんでけ～♡
ビクン
ちゅっ♡
おうわっ!


スー
ハ
ハ

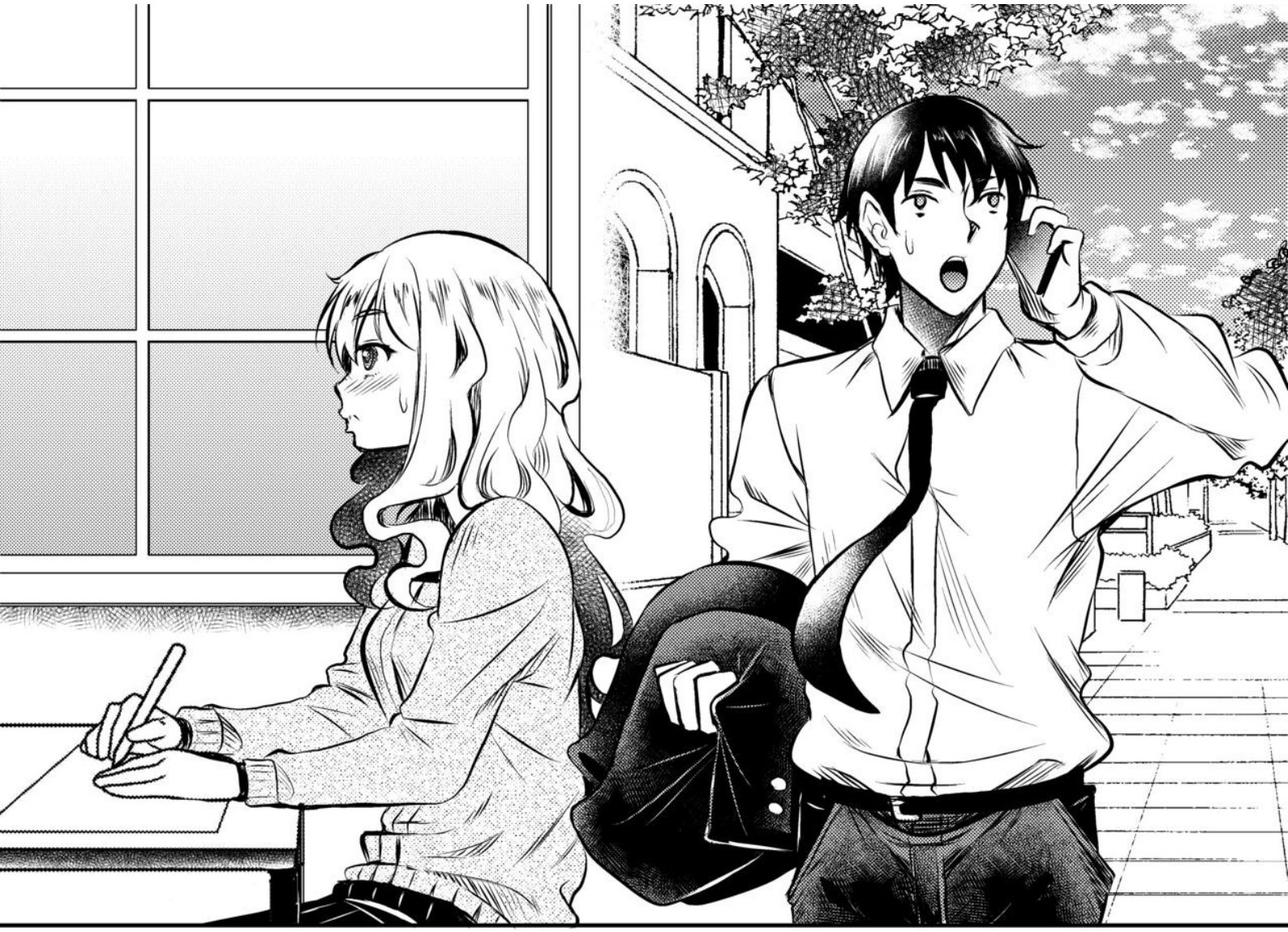
ちゅん
ちゅん

ちゅっ♡


パサッ


じーっ
zzz

今日もちゃんと学校行くから先に出るねいつも朝ごはんをろくに食べていないみたいだからちゃん食べて行くようにあなたの杏樹より♡
アイツめ…コシャクな事を
ブルッ
うん？
まあ最近は真面目に学校行っているようだからいい事か



お兄さん
それでね～

あのな…

そろそろお前も
オレの事…な 名前で
呼んでいいんだぞっ
杏樹…

えっ？

うん…
務…さん…
出会いの形は
良くなかったけれども
今はこうして
当たり前のように
一緒にいる
温かくて幸せな時間
願わくば　これが
末永く続きますように

こんにちは久水あるたです。
今回のお話は2019年に某書店の合同同人誌に寄稿した作品に描きおろしの続編を足したという少し特殊な形の刊行となりましたが如何だったでしょうか?。
元の作品は自分でも気に入った作品だったので何らかの形で続きを描きたいと思っていましたが結局4年も開いてしまったために絵柄が前半と後半と違っているのはご愛敬ということですが続編が出せた事については自分でも満足しています。商業誌では主に執筆している雑誌のカラーから人妻モノが多くJKモノを描く機会が中々ありませんしね(苦笑)。

今後の活動予定ですが現在はWEB誌での隔週連載も終わってスケジュールに余裕が出来たのでしばらくは隔月で成人向け商業誌の仕事をしつつ定期的に同人誌を刊行していくスタイルで行こうと思っています。まだまだ自分の中で温めている作品もいくつかありますので今後ともよろしくお願いいたします！。

2023･12　久水あるた